

スプレーギクオリジナル新品種「ティーレッド」（仮称）

農業・園芸総合研究所

1 取り上げた理由

これまでに県単独育成で「オータムプリンセス」、全国農業協同組合連合会との共同育成で「ロゼページェント」の2品種を種苗登録している。これらの品種は、花色がピンク色である。近年消費者ニーズの多様化に伴い、さらに多彩な花色をもったオリジナルスプレーギク品種の育成が求められている。そこで、さらに多彩な花色をもつ新品種の育成を進めてきた結果、新品種「ティーレッド」を開発したので普及情報とする。

2 普及情報

1) 育成経過

スプレーギク新品種「ティーレッド」は、平成13年に秋ギク型品種どうしで交配し、得られた種子を播種・定植して、開花した株より「M03-0105」を選抜した。以後、特性調査や現地適応性検定などを実施・継続し、平成20年にその特性が安定していることを確認して育成を完了し、「ティーレッド」と命名したものである。

2) 特性の概要

- a 施設栽培用の秋ギク型切り花品種である。花はやや小輪、赤橙色の半八重で、花房形は円筒形である（図1、表1）。
- b 栽培期間が従来の秋ギク型品種と同程度で、消灯から開花までの到花週数は低温期で7～8週である（表2、3）。
- c 冬期の無摘心栽培では、切花長や切花重が確保され、花首長の短縮が少ないなど切り花品質が優れる。また、夏期の無摘心栽培では、開花遅延をおこしにくく、花房形の乱れがないなど切り花品質が優れる。したがって、本県の気象条件に適し、無摘心による周年栽培が可能である（表2、3）。

3) 対象地域等

普及見込み地帯は、県下一円である。

3 利活用の留意点

- 1) 本県の平野部と山間部での現地適応性検定を行った結果、両地域での気象条件に適していると判断されたため、県下一円の普及が見込める（データ略）。
- 2) 「ティーレッド」は、種苗登録出願中である（受理番号第 号）。
- 3) 新品種の種苗供給の方法については、現在検討中である。

（問い合わせ先：農業・園芸総合研究所園芸栽培部 電話022-383-8132）

4 背景となった主要な試験研究

1) 研究課題名及び研究期間

園芸作物のオリジナル品種育成 平成11～20年度

2) 参考データ



図1 「ティーレッド」

表1 育成品種の特性

形質	育成品種	対照品種	
	ティーレッド	サーモンリネカー	ロゼページェント
花序の形	円筒形	円筒形	円筒形
頭花の形	半八重	半八重	半八重
花盤の形	デイジー	デイジー	デイジー
頭花の舌状花の主要な形	舌状	舌状	舌状
舌状花の表面の主な色(No.色名)	1012赤橙	1602浅橙	8903紫ピンク
花盤の開葯前の色	黄緑	黄緑	黄緑
花盤の開葯時の色	黄	黄	黄
開花習性	秋	秋	秋

注) 特性表: 農林水産省の品種登録出願用
花色: JHSカラーチャートのNo.色名

表2 3月開花作型での無摘心栽培における生育・開花及び切り花品質 (平成18年)

系統・品種名	消灯時生育		開 花		切 り 花 品 質								
	草丈 (cm)	葉数 (枚)	盛期 (月/日)	到花日数 (日)	切花長 (cm)	切花重 (g)	葉数 (枚)	莖径 (mm)	花首長 (cm)	花蕾数 (個)	二次蕾 (個)	花径 (cm)	花房形
ティーレッド	34	16	3/11	51	102	103	34	6.6	3.7	15	1	6.9	A
サーモンリネカー	33	16	3/11	51	105	89	36	6.8	4.6	13	0	6.8	A
ロゼページェント	38	15	3/10	50	109	99	39	6.2	6.8	16	2	6.4	A

注) 開花盛期は50%開花時とし、消灯時から開花盛期までを到花日数とした。花首長は頂花における長さ。
花房形は円筒形をA, 円筒形で頂花の少し下がるものをA', 平形をB, 凹形をC, 乱形(柳芽)をDとした。
挿し芽: 平成17年 12/8, 定植: 12/22, 消灯: 平成18年 1/19。

表3 11月開花作型での無摘心栽培における生育・開花及び切り花品質 (平成19年)

系統・品種名	消灯時生育		開 花		切 り 花 品 質								
	草丈 (cm)	葉数 (枚)	盛期 (月/日)	到花日数 (日)	切花長 (cm)	切花重 (g)	葉数 (枚)	莖径 (mm)	花首長 (cm)	花蕾数 (個)	二次蕾 (個)	花径 (cm)	花房形
ティーレッド	40	21	11/ 2	53	104	128	37	6.1	7.5	15	4	7.1	A
サーモンリネカー	42	20	11/ 2	53	106	113	36	6.0	8.2	14	3	7.0	A
ロゼページェント	41	18	11/ 1	52	108	112	34	5.8	6.4	15	2	6.5	A

注) 表2に同じ。
挿し芽: 平成19年 7/26, 定植: 8/9, 消灯(シェード開始): 9/10。

3) 発表論文等

なし。